

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 家族亭

コード番号 9931 URL <http://www.kazokutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 入江 一晃

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 後藤 秀明

TEL 06-6227-6030

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,098	5.6	137	111.4	136	92.0	149	596.2
26年3月期第1四半期	3,879	—	65	—	71	—	21	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 141百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 11百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	21.24	—
26年3月期第1四半期	3.05	—

(注) 平成25年3月期より決算期を12月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、平成26年3月期第1四半期(4月から6月)と比較対象となる平成25年3月期第1四半期(1月から3月)の月度が異なるため、平成26年3月期第1四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第1四半期	5,529	—	3,321	—	60.1	472.48
26年3月期	9,054	—	3,217	—	35.5	457.30

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,321百万円 26年3月期 3,215百万円

(注) 平成27年3月期第1四半期は、連結範囲の変更により、連結子会社が存在しないため、当第1四半期の連結財政状態は当社単体の計数を開示しております

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

平成26年5月9日発表の「エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社による株式会社家族亭の完全子会社化に関する株式交換契約の締結のお知らせ」とあり、平成26年7月29日に上場廃止、平成26年8月1日にエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の完全子会社になる予定であることを踏まえ、平成27年3月期の配当予想はいたしていません。

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

平成26年5月9日発表の「エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社による株式会社家族亭の完全子会社化に関する株式交換契約の締結のお知らせ」とあり、平成26年7月29日に上場廃止、平成26年8月1日にエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の完全子会社になる予定であることを踏まえ、平成27年3月期の業績予想はいたしていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	7,056,200 株	26年3月期	7,056,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	25,355 株	26年3月期	25,355 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	7,030,845 株	26年3月期1Q	7,030,845 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成26年5月9日発表の「エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社による株式会社家族亭の完全子会社化に関する株式交換契約の締結のお知らせ」とあり、平成26年7月29日に上場廃止、平成26年8月1日にエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の完全子会社になる予定であることを踏まえ、平成27年3月期の業績予想はいたしておりませ

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 経営成績に関する分析

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)における当社グループの業績は、外食事業においては新たなメニュー開発や販促策が功を奏したこと、また製造事業においても新規取引先の開拓を積極的に行ったことなどにより、連結売上高は4,098百万円、前期比105.6%となりました。

これらの増収効果により、営業利益は137百万円、前期比211.4%、経常利益は136百万円、前期比192.0%となり、連結子会社の売却に伴う特別利益や法人税等を計上した結果、四半期純利益は149百万円、前期比696.2%となりました。

各セグメントの概況は以下の通りであります。

①外食事業

外食事業を営む家族亭の当期の業績は、売上高は2,039百万円、前期比99.2%、セグメント利益(営業利益)は76百万円、前期比169.7%となりました。

主な取り組みとして、「家族亭」、「花旬庵」等のそば業態においては、春から初夏にかけて旬の食材を使い季節感を取り入れたメニューの開発や「母の日」や「父の日」など顧客の関心事に絡めた販促策を各店舗で実施するなど、きめ細かな各種営業施策を推進したことにより、業績は好調に推移いたしました。

また「得得」のうどん業態におきましても、きめ細かな営業施策を推進する他、一部の店舗に導入している女性顧客に人気のヘルシーメニュー「大地の恵み」において、冷たい麺を使った春夏向けメニューを拡充し、さらなる新規顧客の獲得に向けた取り組みを行いました。

国内の営業網の整備については、直営店舗は出店1店、閉店2店により97店舗に、FC店舗は閉店2店により92店舗に、海外店舗は閉店4店により5店舗となり、この結果、当期末の店舗数(提携店舗5店含む)は、前期末より7店舗減少し、合計199店舗となりました。

②製造事業

製造事業の当期の業績は、売上高は2,058百万円、前期比112.9%、セグメント利益(営業利益)は61百万円、前期比306.1%となりました。

大口取引先の店舗数減少や原材料価格及びエネルギーコストの高騰の影響はあるものの、好調な調理麺を中心に新規取引先への販売強化や既存取引先への展開商品の拡大等を積極的に進めた結果、業績は増収増益となりました。

なお、本製造事業を構成する中野食品株式会社と寿製麺株式会社は、本年6月末を以って麺類の製造及び販売を手掛けるシマダヤ株式会社へ売却いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,529百万円、負債合計は2,207百万円、純資産は3,321百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間末に連結範囲の変更により、連結子会社が存在しないため、当期第1四半期末の連結貸借対照表は当社単体の計数を開示しておりますので、前年比較は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日発表の「エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社による株式会社家族亭の完全子会社化に関する株式交換契約の締結のお知らせ」のとおり、平成26年7月29日に上場廃止、平成26年8月1日にエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の完全子会社になる予定であることを踏まえ、平成27年3月期の業績予想はいたしておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲変更

①連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間末より、中野商品株式会社及び寿製麺株式会社は、株式を売却したため、連結の範囲から除外しております。

当第1四半期連結会計期間より、KAZOKUTEI RESTAURANT INDIA PRIVATE LIMITED は、重要性がなくなったため、連結の範囲から除外しております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、上海族旺餐飲管理有限公司は、重要性がなくなったため、持分法の範囲から除外しております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理の適用

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	377,605	162,935
受取手形及び売掛金	1,138,002	347,583
商品及び製品	43,058	19,120
原材料及び貯蔵品	272,024	124,705
繰延税金資産	70,534	30,018
短期貸付金	9,266	173,794
未収入金	118,834	129,577
その他	123,564	88,636
貸倒引当金	△2,657	△4,548
流動資産合計	2,150,232	1,071,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,424,478	1,390,689
機械装置及び運搬具（純額）	401,765	1,454
工具、器具及び備品（純額）	95,565	72,535
土地	1,499,406	920,536
リース資産（純額）	41,862	—
建設仮勘定	—	2,701
有形固定資産合計	4,463,078	2,387,917
無形固定資産		
のれん	59,930	—
リース資産	3,265	259
その他	111,857	51,148
無形固定資産合計	175,053	51,408
投資その他の資産		
投資有価証券	87,251	24,277
関係会社出資金	403	—
長期貸付金	54,659	52,168
繰延税金資産	304,586	186,064
敷金及び保証金	1,810,320	1,759,611
その他	104,943	92,701
貸倒引当金	△96,176	△96,176
投資その他の資産合計	2,265,989	2,018,646
固定資産合計	6,904,122	4,457,971
資産合計	9,054,354	5,529,796

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	932,296	375,843
短期借入金	985,677	—
1年内返済予定の長期借入金	591,890	295,914
リース債務	16,474	259
賞与引当金	38,736	—
未払金	653,322	323,159
未払費用	258,227	153,927
未払法人税等	90,393	30,700
預り金	27,960	39,170
資産除去債務	5,550	10,500
その他	27,370	70,688
流動負債合計	3,627,900	1,300,162
固定負債		
長期借入金	1,449,769	342,906
リース債務	30,825	—
繰延税金負債	18,634	—
再評価に係る繰延税金負債	50,196	50,196
役員退職慰労引当金	38,955	38,535
退職給付に係る負債	248,444	112,461
長期預り保証金	148,940	144,728
資産除去債務	222,979	218,846
固定負債合計	2,208,746	907,674
負債合計	5,836,647	2,207,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,465,784	1,465,784
資本剰余金	1,425,506	1,425,506
利益剰余金	651,394	761,859
自己株式	△13,954	△13,954
株主資本合計	3,528,730	3,639,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,721	56
土地再評価差額金	△317,292	△317,292
為替換算調整勘定	△3,959	—
その他の包括利益累計額合計	△313,530	△317,236
少数株主持分	2,507	—
純資産合計	3,217,707	3,321,959
負債純資産合計	9,054,354	5,529,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,879,696	4,098,386
売上原価	3,163,984	3,306,435
売上総利益	715,712	791,950
販売費及び一般管理費	650,455	653,989
営業利益	65,257	137,960
営業外収益		
受取利息	739	581
受取配当金	1,266	722
不動産賃貸料	29,666	29,833
その他	5,476	6,648
営業外収益合計	37,149	37,786
営業外費用		
支払利息	11,870	8,666
不動産賃貸費用	9,648	9,704
持分法による投資損失	1,803	—
株式交換関連費用	—	12,200
その他	7,779	8,277
営業外費用合計	31,102	38,849
経常利益	71,303	136,897
特別利益		
投資有価証券売却益	22,330	—
関係会社株式売却益	—	228,597
特別利益合計	22,330	228,597
特別損失		
固定資産廃棄損	8,122	—
減損損失	—	63,709
店舗閉鎖損失	—	14,706
特別損失合計	8,122	78,416
税金等調整前四半期純利益	85,510	287,079
法人税、住民税及び事業税	18,172	64,974
法人税等調整額	47,018	72,791
法人税等合計	65,191	137,765
少数株主損益調整前四半期純利益	20,319	149,313
少数株主損失(△)	△1,127	—
四半期純利益	21,447	149,313

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,319	149,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,224	△7,664
為替換算調整勘定	△677	—
持分法適用会社に対する持分相当額	263	—
その他の包括利益合計	△8,638	△7,664
四半期包括利益	11,680	141,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,032	141,648
少数株主に係る四半期包括利益	△1,351	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	外食事業	製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,055,816	1,823,880	3,879,696	—	3,879,696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,135	43,240	48,376	△48,376	—
計	2,060,952	1,867,121	3,928,073	△48,376	3,879,696
セグメント利益	45,297	19,960	65,257	—	65,257

(注)1. 売上高の調整額△48,376千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	外食事業	製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,039,562	2,058,823	4,098,386	—	4,098,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,905	6,464	11,400	△11,400	—
計	2,044,468	2,065,318	4,109,786	△11,400	4,098,386
セグメント利益	76,864	61,096	137,960	—	137,960

(注)1. 売上高の調整額△11,400千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。